

■ 地域情報の通信基盤構築へ連携協定

広島工業大学

「Society5.0」時代に適した地域情報通信基盤構築の研究に関する連携協力協定を、広島県廿日市市とケーブルテレビ会社のちゅピCOM（広島市）の3者間で締結した。世界遺産の島・宮島（廿日市市）の観光振興などへの貢献を想定している。

廿日市市役所で調印式を行い、広島工業大学の長坂康史学長＝写真（手前）＝と松本太郎廿日市市長、浅井幹夫ちゅピCOM社長の3人が協定書に署名した。協定の内容は①最新技術を用いた実証実験の構築②市民や来訪者が抱える課題解決へ技術を生かすアイデア創出③地域に適した情報通信基盤の維持・拡充④データ連携基盤に関する研究一を挙げている。

長坂学長は「情報に強い大学として地域の基盤づくりに貢献し、持続可能な社会をつくる研究を進めたい」と話している。

